

# LINEEYE

LAN接続型デジタル Dユニット

## LAN Dシリーズ

### 追加機能説明書

#### 追加機能説明書

LA-3R2P

LA-7P

LA-5R

LA-5T2S

# 自動ON/OFF制御の使い方

## 自動ON/OFF制御について

LA-5RまたはLA-5T2Sがコマンドを受信することにより選択された出力端子 (DO1 ~ DO5) を自律的に本体内で最小100msec、最大14sec間隔で周期的にON/OFFすることができます。自動ON/OFF制御動作の開始は、現在の出力端子状態を反転する動作となります。

## 独自の制御ソフトの開発について

### 制御コマンド

自動ON/OFF制御

ローカルポート番号 (工場出荷時 :10003) に対して、下記表の1バイトまたは連続した2バイトの制御コマンドを送信します。

制御コマンド		意味	LA-5R/LA-5T2Sの動作
1バイト目	2バイト目		
F1h	01h	自動ON/OFF制御開始	自動ON/OFF制御開始後、F1h,01hを直ちに返送します。
	00h	自動ON/OFF制御停止	自動ON/OFF制御停止後、F1h,00hを直ちに返送します。
F2h	000xxxxb	自動ON/OFF制御周期設定	xで指定された自動ON/OFF制御周期を設定後同じ、F2h,000xxxxbを直ちに返送します。( 2)
F3h	000xxxxb	自動ON/OFF制御端子設定	xで指定されたDO0 ~ DO5を自動ON/OFF制御端子に設定後同じ、F3h,000xxxxbを直ちに返送します。( 1)
E1h		自動ON/OFF制御動作状態確認	現在の自動ON/OFF制御動作状態を、E1hに続いて01h(動作中)または00h(停止中)を直ちに返送します。
E2h		自動ON/OFF制御設定周期確認	現在の自動ON/OFF制御設定周期を、E2h,000xxxxbで直ちに返送します。( 2)
E3h		自動ON/OFF制御設定端子確認	現在の自動ON/OFF制御設定端子を、E3h,000xxxxbで直ちに返送します。( 1)

1:自動ON/OFF制御端子設定ビットは、0の時未設定、1の時設定を表します。

2バイト目							
B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7
自動ON/OFF制御端子				常に0			
DO1	DO2	DO3	DO4	DO5	0	0	0

- ・B0 ~ B7は、ビット0(LSB) ~ ビット7(MSB)を表します。
- ・初期値は自動ON/OFF制御停止で全て未設定(00000000b)となります。
- ・自動ON/OFF制御動作中出力端子に出力制御(F0h,000xxxxb)を送信しても無視されます。

2:2バイト目の000xxxxbと自動ON/OFF制御設定周期(msec)との関係は、下記表をご覧ください。

2バイト目								HEX	周期 msec
B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7		
0	0	0	0	0	0	0	0	00h	100
1	0	0	0	0	0	0	0	01h	200
0	1	0	0	0	0	0	0	02h	300
1	1	0	0	0	0	0	0	03h	400
0	0	1	0	0	0	0	0	04h	500
1	0	1	0	0	0	0	0	05h	600
0	1	1	0	0	0	0	0	06h	700
1	1	1	0	0	0	0	0	07h	800
0	0	0	1	0	0	0	0	08h	900
1	0	0	1	0	0	0	0	09h	1000
0	1	0	1	0	0	0	0	0Ah	1100
1	1	0	1	0	0	0	0	0Bh	1200
0	0	1	1	0	0	0	0	0Ch	1300
1	0	1	1	0	0	0	0	0Dh	1400
0	1	1	1	0	0	0	0	0Eh	1500
1	1	1	1	0	0	0	0	0Fh	1600
0	0	0	0	1	0	0	0	10h	1700
1	0	0	0	1	0	0	0	11h	1800
0	1	0	0	1	0	0	0	12h	1900
1	1	0	0	1	0	0	0	13h	2000
0	0	1	0	1	0	0	0	14h	3000
1	0	1	0	1	0	0	0	15h	4000
0	1	1	0	1	0	0	0	16h	5000
1	1	1	0	1	0	0	0	17h	6000
0	0	0	1	1	0	0	0	18h	7000
1	0	0	1	1	0	0	0	19h	8000
0	1	0	1	1	0	0	0	1Ah	9000
1	1	0	1	1	0	0	0	1Bh	10000
0	0	1	1	1	0	0	0	1Ch	11000
1	0	1	1	1	0	0	0	1Dh	12000
0	1	1	1	1	0	0	0	1Eh	13000
1	1	1	1	1	0	0	0	1Fh	14000

- ・B0 ~ B7 は、ビット0(LSB) ~ ビット7(MSB)を表します。
- ・初期値は1000msecとなります。
- ・各端子個別の周期設定はできません。
- ・周期は100msec ~ 2sec :100msec 毎、2sec ~ 14sec :1sec 毎となります。

# 入出力関数ライブラリによる制御

Visual BasicやC言語から利用できる入出力関数ライブラリ及びサンプルプログラム（ソースコード付き）が、CD-ROMに収録されていますので、PCで動作する他のソフトウェアと連携した独自の制御システムなどを開発される時にご利用ください。

[追加された入出力関数一覧表]

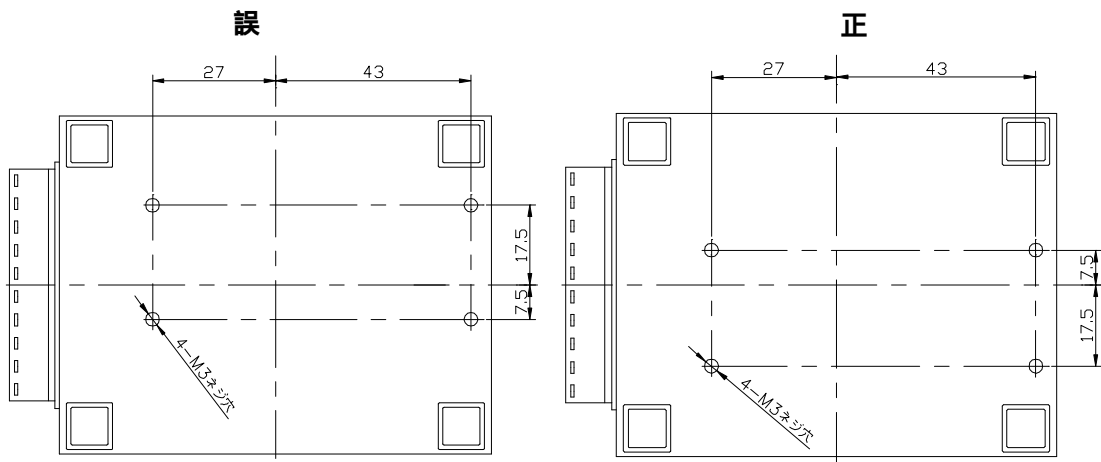
LELanioSetAutoSwitchingActive(hLANIO handle, BOOL active)	自動ON/OFF制御の開始/停止
LELanioGetAutoSwitchingActive(hLANIO handle, BOOL *active)	自動ON/OFF制御の開始/停止状態確認
LELanioSetAutoSwitchingTime(hLANIO handle, int msec)	自動ON/OFF制御の周期設定
LELanioGetAutoSwitchingTime(hLANIO handle, int *msec)	自動ON/OFF制御の設定周期確認
LELanioSetAutoSwitchingPio(hLANIO handle, int autoswdo)	自動ON/OFF制御のDO端子設定
LELanioGetAutoSwitchingPio(hLANIO handle, int *autoswdo)	自動ON/OFF制御の設定DO端子確認

入出力関数ライブラリの詳細は、付属CD-ROMのLINEEYE¥Document フォルダのLIBRARY.TXTをご覧ください。

付属の入出力関数ライブラリやサンプルプログラムはライセンスフリーでご利用いただけますが、その使用方法などに関する無償サポートは行っておりませんので予めご了承ください。

## 正誤表

P.9 制御盤パネル等にネジ止め固定する方法 ネジ穴図面に誤りがありました。  
[ケース裏面のM3ネジ穴位置]



P29 「LA-5RとLA-5T2Sの出力制御」のコメント表に誤りがありました。

誤									正								
2バイト目									2バイト目								
B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B0	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7		
出力設定					常に1				出力設定					常に0			
DO1	DO2	DO3	DO4	DO5	1	1	1	DO1	DO2	DO3	DO4	DO5	0	0	0		